

SSKO

Drug Addiction Rehabilitation Center

DARC

Grow up!!

栃木ダルク

ニュースレター 第74号(2009.6.15)

感謝ということ

宇都宮 OP 責任者 栃原晋太郎

今年も春の訪れが、今年よりも早く訪れた感じが判っております。皆様におかれましてはどうかお過ごしでしょうか。

今年も暮れを迎える頃から、世間を大荒の波が覆っていますし、豚インフルエンザの流行や犯罪報道が増えてきたりと、個人的にも社会として考えた時にも、日々不安が膨らんでいくように感じています。栃木ダルクの卒業生達に話を聞いても、金銭的に余裕があると答える中間は殆どいませんし、みな毎日を生きていくことで精一杯です

今回はそんな中でも、何とか栃木ダルクが活動を続けさせていただいている事、利用者が卒業しスムーズに社会復帰している事、それらを支えてくださっている皆さまに対する感謝をテーマにしてみました。

栃木ダルクが宇都宮に施設を開いてから3年半が経とうとしていますが、その間、ダルクに関わってくれた全ての方に「栃木ダルク利用者が卒業する際に、敷金や礼金などは自分たちで働いて何とか貯金していきますが、家電製品などを揃えるのは現実的に難しいので、ご家庭で買い替えを行う際にはぜひダルクに献品してください」と訳の分からないことを言い続けてきました。ボランティア関係の方々や企業の方、家族会の方々、講演活動の対象者の方々にまで。自分としては恥ずかしさもあつたし「自分のためじゃないのに」という思いを最初のうちは持っていました。ある程度時間が経ってからも、どこまで声をかけていいのかという範囲が分からなくて、困ったことも多々あります。ただ、やり続けることで、範囲というのは自分の殻の大きさや固さなのかもしれないという気があったような気がします。

最近では、本当に誰にでもお願いができるようになりました。ありがとうございますという気持ちも自然と出てくるようになりました。



今の仕事も、仲間との生活も、家庭も、どんどん好き
になっています。

仲間の笑顔も沢山見れるし、献品を送ってくれた方々
への感謝を仲間と共有出来ることが何よりですかね。
ちなみに最近では、施設の倉庫だけでは入りきらず、
支援者の倉庫を借りるほどの献品をいただくようにな
りました。どの職業の人がということはないようで、
本当に様々な方から声をかけてもらっています。

つい先日、宇都宮機器仲様より役員の方が引越しを
されるとのことで、家電製品一式をいただきました。今日から一人暮らしが出来
そうなほどで、近いうちに卒業を予定している仲間数名と引き取りに行ったので
すが、本当に助かりました。

仲間の下心が有りそうな、にやにやした顔や普段よりきびきび動く事に囚われたり
はしましたが（^^）

その他にも、家族会の方から自動車をいただきましたし、那須の事務所用のプレ
ハブをいただいたりと、私たちの日常には皆様からの気持ちが詰まっているよう
に思います。

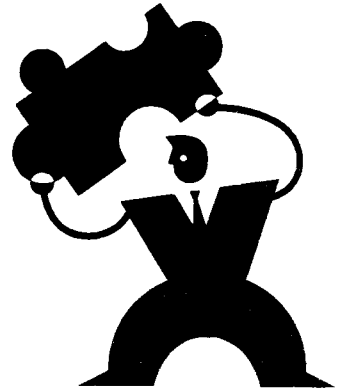
私は今までずっと見返りを求めながら生きてきました。プライドもずっと高くも
っています。ですから利用者に対して「困った時には助けてと言えればいいんだ
よ」とは言えるのですが、自分としては実践できていませんでした。



ダルクに繋がって5年と半年が過ぎて、沢
山の人に支えられ続けて、やっと一つ殻を
柔らかく出来たのかもしれないね。

世の中は不況です。それでも人の気持ちは
繋がれるという実感を与えてもらえること
に幸せを感じています。

ダルクでのプログラムを終えて仲間たちが
卒業を迎えるときに、今の私と同じ気持ち
を味わうことが出来るんだろうなと、高慢
に一人でにやにやしています。



ターニングポイント

依存症のヤス

「ガチャ。ガチャ」両手首に嵌められた手錠！
あ～あ・・・またやっちゃったよ！ また刑務所だよ！

何度同じ言葉を吐いたか？42歳で覚醒剤取締り法違反の所持・使用で初犯刑務所に入り、53歳までに5回も刑務所へ。

すべてが覚醒剤絡みでの入所生活。この10年間ほとんどが檻の中。

「塀の中の懲りない面々」なんて本があったが、字の通り懲りない人間になっていた。

38歳で離婚し、仕事も下火、精神的にも荒んでいたせいで、近くの雀荘のマスターから「セックスに最高のヤツがあるよ」なんて軽い囁きに気軽に飛びついた結果が地獄を知る羽目になっていた。

今となれば、気付いたかもしれないが、なぜあの時に手を出したのか・・・？
人間やめますか？それとも・・・

なんて標語を知りつつ、1回くらいならいいだろう。セックスに最高だぜ。なんて自分に言い聞かせ手を出した。

その1回の余りの良さに「こんな物がこの世の中にあったのか！！」と感じて、ハマりにハマった10数年間。

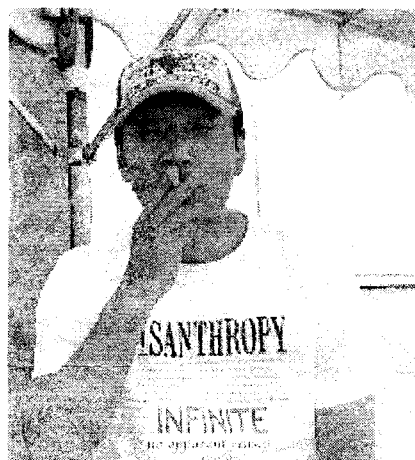
セックスに明け暮れ荒んだ生活を送り、セックスもエスカレートする一方。

すべての財産・信用・信頼・親・兄弟、無くすだけ無くしても気づかずに字の通り人間をやめていた。

そんなある時、繁華街で「おじさん遊ばない？」と誘われて取り敢えずカラオケへ。

「この子若そうだけど大丈夫かな？」なんて心の中では思いつつ、頭の中はセックスでいっぱいの変なオジサン。

カラオケはそちのけで、いざ出陣した方がいいが、ホテルで本当はいくつなの？と聞いてみたら「小学6年生」あっけらかんと話す女の子にビックリしながら、まずいよな・・・？ランドセル背負ってるんだよな・・・。と思ったら変態おじさんから教育者に変心、説教した挙句タクシーで返した経験があったりします。ポ



ン中の性なのか色々なセックスには事欠かない人生ですけど、どうしても小学生は対象外でした。

こんな経験もあって、今は低年層にまで蔓延している覚醒剤汚染を考えると、世の中どうなっているんだろう？と考えさせられます。

こんな自分が目覚めたのは、ある人との出会いでした。

最後の刑務所で北海道ダルクの施設長の講演を聴き、「俺より酷い人生を歩みながらも、刑務所長はじめ処遇部長から挨拶される人間になれるんだ。自分がこれから歩いていく道はこれしかない！」

自分が依存者となり、自分のように苦しんでいる人の為に少しでもメッセージが運べたら、こんないい人生はないと思ったのがダルクに入るキッカケになったのです。

栃木ダルクに入寮して、今月で1年になりますが、覚醒剤なしの生活が当たり前のようにになっているのが自分でも信じられません。

今までは刑務所から出たらその日のうちにやり続けてきたのに・・・？

確かにやりたい気持ちがないと言ったら嘘になります。ただ取り敢えず今日だけはやめておこう、という気持ちの積み重ねがこの1年だと思えます。

そして、ここまでこれたのは仲間の助けがあったからだ、感謝の気持ちでいっぱいになります。

施設での生活は苦しいと思う事もありますが、回復していくにつれ、楽しいことが多くなっていく自分がいるのです。

とりあえず「あせらずにやろう」という言葉を噛み締めて、自分に正直に、心を開き、何事もやる気をもっていきたいと思っています。

4月に入り、宇都宮の施設に移動して那須でやっていた 트레이ニー を続けていましたが、先日からチーフという役割を始めました。少しでも仲間の手助けができればいいと考え始めているし、今後はより責任ある業務に就けるよう準備していきたいと思っています。

その為にも、今はもっと自分に厳しく生活することが今後の自分にとって大事だと思っています。

毎日嫌な天気が続いていますが、雨降って地かたまると言います。嫌なことは雨に流して、青空の下で生きていきたいですね。

茶臼岳

5月26日に登山を行いました。前回は雹が降ってきたために中止となり今回は大丈夫か心配をしていましたが快晴でした。登山になれていない仲間が多く、人のペースについていき途中で疲れ切っていた仲間や道を間違える仲間などがありました。行く前まで色々言っていた仲間たちも景色の美しさに感動していました。莫なして達成感を得られたのではないのでしょうか



美しさが伝わるかな？





登ったど〜

5月献金を下さった方々

横松晃様、杉岡栄治様、古川富枝様、森嶋恵美子様
匿名5名様

5月献品を下された方々

高田和寛様、大串徹様、星一明様、宮崎真優美様
ロ-ラ-ト・ヒ-ル神父様 匿名5名様

編集

〒320-0014

NPO 栃木DARC

栃木県宇都宮市大曾 2-2-14 形松ビル 3F

TEL 028-650-5582 FAX 650-5597

URL <http://www.t-darc.com>

Eメール: nesm@t-darc.com

発行所

郵便番号一五七―〇〇七三 東京都世田谷区砧六一―二六―二二
特定非営利活動法人障害者団体定期刊行物協会

定価100円